

Message

平成 31 年 3 月 20 日

謝 辞

やわらかな春の日差しに花のつぼみも膨らみはじめるこの佳き日に、このような心温まる素晴らしい式をご用意していただき、誠にありがとうございます。僭越ながら卒園児の保護者代表といたしまして、一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

本日、卒園児 17 名がこのつぼみ園から巣立ち、4 月からはそれぞれ新しい道へと進みます。

思い返せば入園当初、不安や悩みを抱え、ふさぎ込みがちだった私たちを支えてくださったのは先生方の笑顔でした。

登園するたびに笑顔を取り戻し、しっかり子どもと向き合えるようになりました。

いつも明るく元気なお友だちママも、私と同じように悩んだり苦しんだりしながら、子どもの小さな成長を一緒に喜びあったり、そんなお友だちママの存在も大きな励みになりました。

子どものことを知るための様々な勉強会も開いていただき、ちょっとした工夫や配慮で子どもの「できる」が増えること、見通しの大切さ、子どもの接し方、遊び方、たくさんのことを教えてくださいました。

そして、たくさん行事を経験するたびに、成長を見せてくれた子どもたち。

年長さんの一大行事「わくわく保育」では、子どもたちの力を信じ、しっかりと積み重ねていただいたおかげで、先生を支えに、お友だちと一緒に頑張ることができ、ひとり一人に役割を任せてもらえたことで、ひとまわりもふたまわりも大きく成長する姿が見れました。

つぼみ園で培った力は、私たち親子の自信という翼になり、新しい一歩を踏み出す勇気になりました。

親子ともに、これからもたくさんの壁にぶつかり、つまづくこともあるかもしれませんが、つぼみ園で愛され、全身で受け入れてもらえた安心が、私たちの根っこにしっかり息づいている限り、決してくじけることなく、何事にも立ち向かえらると思えます。

どんな時も全身全霊で子どもたちを守り、寄り添い、大きな愛で包んでくださった先生方をはじめ、子どもたちの療育に関わってくださったすべての職員の方々に深く感謝申し上げます。

私たちの大切な子どもたちと一緒に育ててくださり、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、つぼみ園がこれからもたくさんの家族を笑顔にできる園でありますように。そしてご来賓の皆様、職員の皆様の益々のご健勝をお祈りしましてお礼の言葉とさせていただきます。

平成 31 年 3 月 20 日 保護者代表